

2007-08 年度運動方針

目次

I. 運動推進にあたっての基本的考え方と重点課題

1. 取り巻く環境の基本的な認識
2. この2年間における重点運動課題の推進

II. 具体的な運動の取り組み

1. 金属産業にふさわしい労働条件の確立
 - (1) 第2次賃金・労働政策の実現に向けた運動の推進
 - (2) 春季生活闘争におけるJC共闘体制の強化
2. 日本経団連との懇談や金属産業労使会議など労使会議の充実・強化
3. 民間・ものづくり・金属としての政策実現に向けた取り組み
 - (1) 政策・制度要求の実現に向けた活動
 - (2) 東アジア地域・各国の金属産業に関する産業実態や産業政策の調査・分析
 - (3) 「ものづくり教室」の充実と発展
 - (4) 中核的労働基準に関する企業行動規範(COC)とCSRの取り組み推進
 - (5) 新たなライフスタイルの確立をめざすサマータイム制度の導入に向けた取り組み
4. アジア重視の国際連帯活動の推進
 - (1) グローバル化に即応した取り組み
 - (2) アジアを最重点にした国際連帯活動の展開
 - (3) JC国際窓口機能の強化にむけた国別・組織別データベースの整備等の対応
 - (4) IMFメタルワールドなどのデジタル配信への切り替え
 - (5) 連合および他GUFとの連携の促進
5. 組織強化に向けた取り組みと新たな運動を支える財政基盤の確立
 - (1) 金属部門連絡会活動充実に向けた取り組み強化
 - (2) 組織拡大と非典型雇用への対応
 - (3) 教育・広報活動の充実
 - (4) 新たな運動を支える財政基盤の確立に向けた取り組み